

各学部の目的

【人文学部】

○学部の目的

人文学部は、人文社会科学の諸分野において学際的、総合的な教育研究を行うことにより、専門的知識と豊かな教養に基づき、広い視野と柔軟な思考力をもった、地域社会や国際社会で活躍できる人材を育成し、地域文化、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

○学科の目的

文化学科

文化学科は、人文科学諸分野の成果に基づき、世界各地域の固有の文化に関して、広い視野から探求し、教育研究を進めることにより、変動激しい現代社会への深い理解と国際感覚に基づいた総合的判断力と行動力をもつ人材を育成し、国際社会と地域社会の発展に貢献することを目的とする。

法律経済学科

法律経済学科は、法律、政治、経済及び経営の専門知識に立脚しつつ、広い視野で問題を探求する教育研究を行うことにより、公私の領域において、変動する社会の課題に挑戦する積極性を備え、指導性を発揮できる人材を育成し、国際社会と地域社会の発展に貢献することを目的とする。

【教育学部】

○学部の目的

教育学部は、教育に関する学識と専門的素養を身につけるための幅広いカリキュラムを通じ、深い専門性と豊かな人間性を備えた教員及び職業人を養成することによって、地域社会・国際社会の教育・文化の発展に貢献することを目的とする。

- ・ **学校教育教員養成課程**（国語教育コース、社会科教育コース、数学教育・情報教育コース（数学教育専攻、情報教育専攻）、理科教育コース、音楽教育コース、美術教育コース、保健体育コース、技術・ものづくり教育コース、家政教育コース、英語教育コース、特別支援教育コース、幼児教育コース、学校教育コース（教育学専攻、教育心理学専攻））

【医学部】

○学部の目的

医学部は、確固たる使命感と倫理観を持つ医療人を育成し、豊かな創造力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上に努め、地域及び国際社会に貢献することを目的とする。

○学科の目的

医学科

医学科は、生命科学・医科学の領域における高度で先進的な教育・研究を行うことにより、確固たる使命感と倫理観をもち、豊かな創造力と研究能力を有する医師を育成し、人類の健康と福祉の向上に努め、地域及び国際社会に貢献することを目的とする。

看護学科

看護学科は、生命倫理観・職業倫理観に基づいて人の一生に関わり、個人から集団に至るあらゆる対象に対して適切な看護を実践し、専門職者としての社会的役割を果たすことのできる人材及び生涯にわたって人間的・専門的資質を高め、将来の専門看護者、研究者及び教育者につながる基礎的能力を備えた人材を育成し、人類の健康と福祉の向上に努め、地域及び国際社会に貢献することを目的とする。

【工学部】

○学部の目的

工学部は、基礎的研究とともに社会の変革に対応した応用的研究の成果に基づいた教育を行うことにより、学ぶことへの興味と目的意識をはぐくむと共に、広範な基礎的学力、問題解決能力をもつ創造力豊かな人材を養成し、地域・国際社会に貢献することを目的とする。

○学科の目的

機械工学科

機械工学科は、機械工学分野を核とする広範な知識と技術を教育及び研究し、人間・環境・機械の調和的発展に貢献しうる創造性が豊かで社会性の高い個性的人材を育成することを目的とする。

電気電子工学科

電気電子工学科は、電気電子工学に関する基礎と応用に関する教育研究を行うことにより、多面的理解力、倫理的判断力、知的創造力を備えた専門的技術者及び研究者を育成し、地域・社会に貢献することを目的とする。

分子素材工学科

分子素材工学科は、化学を基軸とする徹底した基礎教育、専門教育を通して、分子設計化学・生物機能工学・素材化学の観点から専門的な学術研究を行うことにより、次世代材料創成を目指した分子科学に携わる技術者、研究者を育成し、地域・国際社会に貢献することを目的とする。

建築学科

建築学科は、地域から地球規模に至る環境及び社会の二ーズを踏まえた総合的見地から、建築・都市の専門分野における学術研究を行うとともに、想像力豊かな建築活動を担う人材の育成を行い、学問・文化と地域・社会の発展に貢献することを目的とする。

情報工学科

情報工学科は、国際標準のカリキュラムの下で、適切な教育を行い、国際標準に達した学力を有する人材を育成すると共に、最新の知識を授け、実践力を高める教育研究を通して、社会の第一線で持続的に活躍できる人材を育成し、地域・国際社会に貢献することを目的とする。

物理工学科

物理工学科は、工学の基礎となる物理学と機械工学・電気電子工学を融合させた幅広い教育研究を行うことにより、物理学に通じ、機械・電気電子工学に長けた、学際的で創造力豊かな技術者・研究者を育成し、学問・文化の発展と地域社会に貢献することを目的とする。

【生物資源学部】

○学部の目的

生物資源学部は、生物資源に関する独創性及び専門性を兼ね備えた広い視野を持ち、地域に根ざしたグローバルな視点に立ち、自らの力で問題解決ができる知識及び能力を身につけた人材を育成し、自然との共存を図り、生物資源の適正な開発・利用・保全を追求し、地域及び国際社会に貢献することを目的とする。

○学科の目的

資源循環学科

資源循環学科は、生物資源を効率よく循環利用するための技術開発や新しい社会のデザインをすることができる人材を育成し、調和のとれた循環型社会の構築に貢献することを目的とする。

共生環境学科

共生環境学科は、陸圏・海洋圏・大気圏が複雑に連動する地球生態システムに関わる問題に対応できる専門知識・技術を有した人材を育成し、人間活動と生態系が調和する持続的社会的構築に貢献することを目的とする。

生物圏生命化学科

生物圏生命化学科は、多様な陸上・海洋生物の代謝・物質・機能を解析することを通して生命化学を理解し、医薬品・食品などの開発、未利用資源の利活用などに資する人材を育成することにより、人類の健康増進及び農林水産業の発展に貢献することを目的とする。

海洋生物資源学科

海洋生物資源学科は、海洋生物系の理解並びにその諸問題に対応できる専門知識と技能を備えた人材を育成し、海洋における生物資源の持続可能な生産と生物多様性の保全に貢献することを目的とする。